

石川県水道用水供給事業ビジョン（概要版）

計画期間：令和3年度～

はじめに

1 石川県水道用水供給事業について

当県では、県内13市町を対象に水道水の供給を行う「石川県水道用水供給事業」を運営しています。当事業では近年、水道施設の老朽化や災害対策の需要の高まりなど、多額の投資時期を迎えており、効率的な財政運営がますます重要となってきています。

2 水道事業ビジョン（石川県水道用水供給事業ビジョン）策定の趣旨

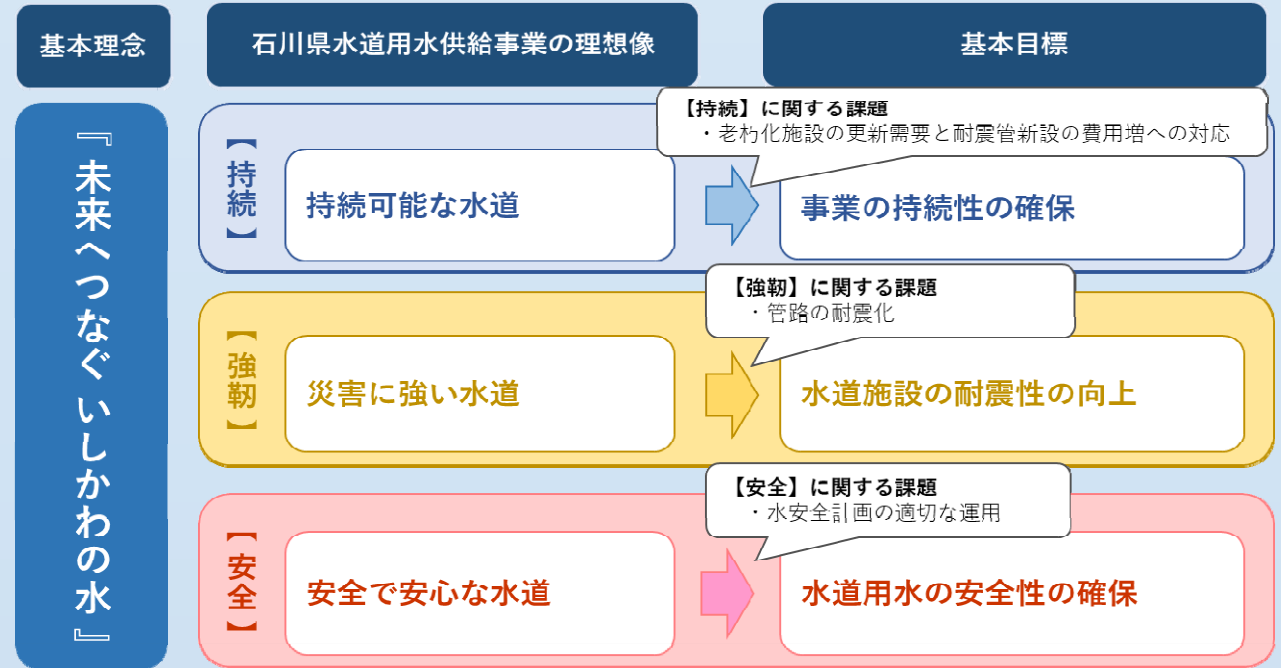
国では、人口減少社会の到来や東日本大震災の経験など、水道を取り巻く環境の大きな変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン」を全面的に見直し、50年、100年後の将来を見据え、水道の理想像を明示するとともに取り組みの目指すべき方向性やその実現方策、関係者の役割分担を提示した「新水道ビジョン」を平成25年3月に策定しました。このことを踏まえ、当事業においても、効率的な運営による財政基盤のもと水道水の供給をより安定して行うことができるよう、当事業における水道事業ビジョンとして「石川県水道用水供給事業ビジョン」を策定しました。

水道事業ビジョンについて

水道事業者等が自らの理想像を明示し、加えて「持続」「安全」「強靱」の観点からの課題や推進方策を示し、実践することで、安全で強靱な水道の持続に資することを目的とします。作成の手引きによると、水道事業ビジョン策定には「アセットマネジメント」の実施並びに「水安全計画」及び「耐震化計画」の策定が必須事項とされ、現状評価、課題抽出、理想像と目標設定、実現方策、フォローアップなどが記載すべき基本的事項とされています。

基本理念と将来の理想像

当事業では、基本理念と将来の理想像を次のように掲げ、課題の解決を図ることで水道を取り巻く環境の変化に対応し、質の高い水道サービスを持続しつづけることを目指します。さらに、課題解決に向けて、基本目標を次のように設定しました。



事業評価と課題

1 事業評価

事業評価には、業務指標（PI）を活用し、他の事業体の平均に対して偏差値を求めました。

業務指標（PI）とは

水道のサービス水準を定量的に把握、分析するために用いられる各種指標値のことで、水道事業ビジョンにおける定量的分析にも業務指標（PI）の活用が有効とされています。

2 課題抽出

事業評価の結果、今のところ大きな問題は抱えていませんが、事業の現状から次の課題を抽出しました。

- 【持続】老朽化施設の更新需要と耐震管新設の費用増への対応
- 【強靱】管路の耐震化
- 【安全】水安全計画の適切な運用

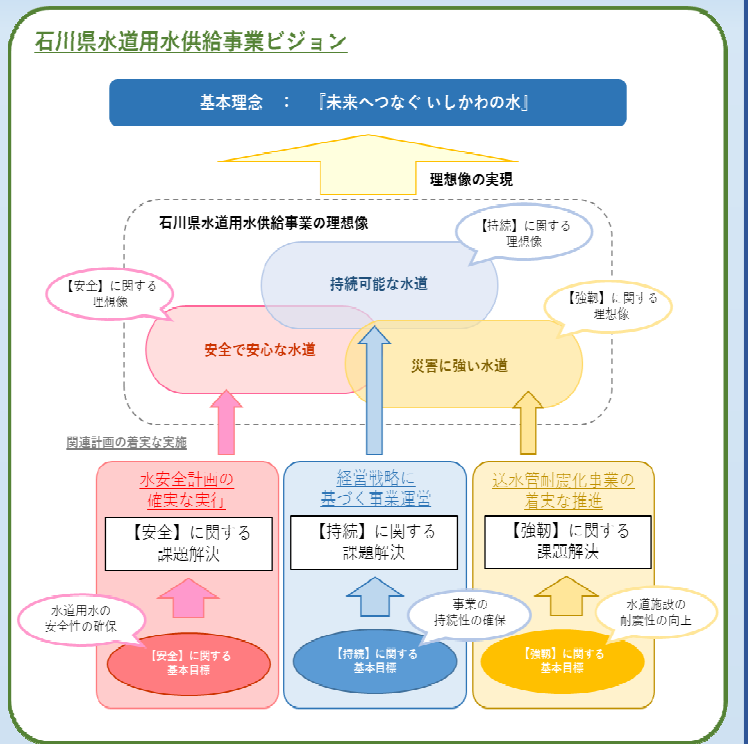
区分	項目	業務指標(PI)	石川県(H30)	同規模事業体の平均	偏差値	同規模事業体に対する石川県の評価				
						△：40未満	○：40以上50未満	◎：50以上	◎：60以上	◎：70以上
持続	経営状況	営業収支比率	94.7	110.9	42.8					
		経常収支比率	100.0	117.2	39.1					
	施設の経年化状況	法定耐用年数超過浄水施設率	0.0	0.0	50.0					
		法定耐用年数超過設備率	79.0	60.4	40.1					
		法定耐用年数超過管路率	49.2	32.8	42.7					
	管理・運営状況	浄水場第三者委託率	0.0	5.3	-					
		浄水場事故割合	0.0	1.4	53.2					
		管路の事故割合	0.0	0.5	56.6					
		漏水率	0.0	0.0	50.0					
		技術職員率	60.3	63.9	47.2					
事業の効率性	有収率	99.6	99.6	49.3						
	施設利用率	60.4	65.2	44.3						
	施設最大稼働率	71.5	72.7	48.5						
	配水量1m ³ 当たり電力消費量	0.2	0.4	57.8						
強靱	耐震化への対応状況	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	2.1	3.6	58.0					
		浄水施設の耐震化率	100.0	50.3	63.6					
	施設整備状況	配水池の耐震化率	100.0	66.8	58.8					
		管路の耐震化率	43.6	39.0	52.6					
		配水池貯留能力	0.3	0.3	47.3					
安全	水質状況	最大カビ臭物質濃度水質基準比率	<10.0	19.2	54.6					
		総トリハロメタン濃度水質基準比率	21.0	22.8	51.5					
		有機物質濃度水質基準比率	16.7	24.9	58.6					

見込まれる純利益を修繕費に充当させているため

理想像の実現方策

基本目標達成に向けた具体的な取組み

- 【持続】経営戦略に基づく事業運営
 - ⇒ アセットマネジメントを用いた更新計画の検討
 - ⇒ 資産種別毎に管理方針の決定
 - ⇒ 企業債を利用した資金管理を反映
 - ⇒ 資産の修繕や長寿命化を図りつつ経常収支比率100%以上
- 【強靱】送水管耐震化事業の着実な推進
 - ⇒ 目標年の設定
 - ⇒ 管路の耐震化率の目標設定
- 【安全】水安全計画の確実な実行
 - ⇒ 危害原因事象に対する管理措置の継続
 - ⇒ 定期的な計画の見直し
 - ⇒ 供給点における自動水質計器の拡充による浄水水質監視体制の強化



この内容に関するお問い合わせ
 〒920-8580 石川県金沢市鞍月1丁目1番地 石川県土木部水道企業課施設管理グループ宛
 TEL (076) 225-1582 (直通) FAX (076) 225-1583